



# 図書館だより

2023年10月号 NO. 407  
北茨城市立図書館  
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16



2023・第77回 読書週間 10月27日～11月9日  
今年の標語は、「私のペースでしおりは進む」です！

終戦2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷痕が至るところに残っているなかで、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という決意のもと、様々な団体が協力し合い、第1回「読書週間」が開催されました。翌年の第2回からは、期間も文化の日をはさんだ2週間と定められ、今年で77回目を迎えます。期間中は、各地で読書に親しむための運動が展開されます。

図書館では、10月29日(日)に「図書館まつり」を開催します。

この読書週間が、みなさん一人ひとりに、読書の楽しさを知ってもらい良いきっかけになればと思います。「本を読むのが好き」という方が増えますように…。

by みーやん



## 読書週間のマーク「ふくろう」

ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る女神アテナの使者であり、文化の中心地アテナイ(アテネ)の聖鳥でもありました。

古代ギリシャの人たちは、賢そうな丸い目ですまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしていたといわれています。



## 《 図書館カレンダー 》

■ = 休館日です。

★ 開館時間 : 午前9時30分～午後6時 ★  
☆ 2023年10月 ☆ ☆ 11月 ☆



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



## ★ YABOOKご紹介 ★

### ◇「楽隊のうさぎ」◇

一般書 913.6Yナカ 中沢 けい／著 新潮社

中学校に入学して間もなく、克久は登校時間中に数人の上級生から突然声をかけられた。

「君、吹奏楽部に入らないか?」「エ、スイソウガク!?!」

小学校時代の出来事をきっかけに、なるべく目立たず心を閉ざして生活することがクセになっていた克久は、上級生からの言葉の嵐に戸惑い、心の中の左官屋を呼び出して、心を灰色に塗り固めてしまう。そんな克久の背中を押したのは、いつの間にか心の中に住み着いていた、公園で見つけた1匹のうさぎであった。

吹奏楽部に入部した克久は、パーカッションを担当することになり、同じパート担当の祥子をはじめとした、個性豊かな先輩や友人、教師と関わりながら、音楽に没頭していく。そして、舞台は「全国大会」へと続いていき…。

人も、人が紡ぐ音楽も、十人十色。みんなで一つのものをつくろうとすれば、当然一筋縄ではいかない。話し合い、時にぶつかりながらも、仲間たちと音楽に対して真摯に向き合う彼らの姿に、かつて聞いていた、放課後の学校に遠く鳴り響く様々な楽器たちの音を思い出した。

by れおん

## 図書館員のひと一言

### 帰り道

帰り道が好きだ。いつもすこしだけおもしろい。

とりわけ夜が好きだ。急がず、泳ぐように帰る日は、なおさら。

星明り、月明かり、海の静寂、漁火。

ラーメン屋さんのちょっと開いたドアから見える、サラリーマンの丸めた背中とか、ファミレスのノスタルジックな灯りとか。

狭い道をすれちがうときに、お互いすこしだけ会釈をするときとか、ラグビーの夜練の風景とか。

本屋さんの新刊コーナー、コンビニのカフェラテ、バス待ち、スーパーのお惣菜。

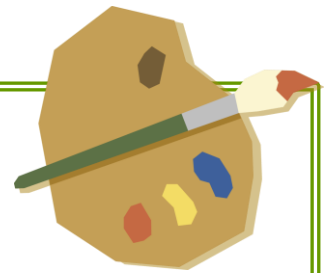
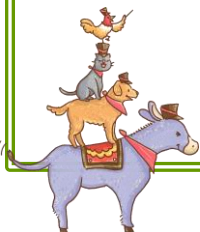
図書館のブックポスト、居酒屋さんの手書き看板、ふいの尋ね人。寄り道も楽しい。

あわてずに、一步一步進めば、ちゃんと家に着く。

今日もいい一日をありがとうございました。

明日もいい日でありますように。

By ミカゲ





◇「ホモサピのいきもの調査報告書」◇

一般書 460ホ ホモサピ／著 KADOKAWA

みんなはコーラが好きだろうか。あの独特のにおいは説明するのが難しいが、実はパクチーとライムなどの柑橘類を混ぜるとコーラのにおいになる。ところでパクチー愛好家の中には、普通のパクチーでは満足できなくなり、カメムシをパクチーの代わりにする人がいる。ではカメムシとライムを合わせたら？驚くことにちゃんとコーラのにおいになる。これはなぜだろうか。草と虫では何もかも違うはずでは？

「なんでだろ？」と思ったことは実際に調べて試してみよう。パクチーとカメムシで共通しているものはなにか？パクチーのにおいってなに由来なんだろう？とか。そうして自分から出た疑問を自分で解決できたとき、疑問は知識へと変わる。この本はそんな疑問を知識へと変えるのにきっと役立ってくれるはずだ。

by 有益不快害虫

◇「いただきます！からはじめるおさかな学」◇

児童書 662ス 鈴木 充<sup>すずき まこと</sup>／著 リトルモア



「マグロがみんなの食卓に来るまで」「漁師さんはどうやって魚をとるの？」

など、全部で6時間目までの授業形式で、すーさんがお魚のことや海のことを教えてくれる本です。わたしたちも普段からお魚を食べたり、海の近くに住んでいますが、お魚が食卓まで運ばれる過程やお魚のさばき方、海の環境についてはよく知らないことも多いのでは？

読み終わった後の頭の中は「なるほど、そうだったんだ！」でいっぱいになりました。

by チョビコ



◇「猫丸神社のひみつ」◇

児童書 913ニ 西村 友里／作 ゆーち みえこ／絵 国土社

幹人の家は、猫丸神社で、おじいさんが神主をしている。学校の「総合」の時間、テーマは「この街の文化を調べよう」。そこで、街の有名な場所が上がる中に「猫丸神社」もでてきた。猫丸神社には、ひみつがあり昔からいろいろわさされていた。その為か、猫丸神社を調べたい子はひとりもいなかった。そんな中、結衣が手をあげた。その後、幹人もグループに加わり、さらに想太が手をあげた。3人の調べ学習がはじまる。いったい猫丸神社とはどんな場所なのか、ひみつが明らかになる。

by チッピー



◇「ぼくのじゃがいも」◇

児童書 Eボク ジョシュ・レイシー／作 モモコ・アベ／絵 みやさか ひろみ／訳 こぐま社

どうしてもペットがほしいアルバートに、パパがプレゼントしてくれたのは…なんと、じゃがいも！「ペットのおじゃがくん」と、パパはいいます。アルバートはパパのじょうだんにあきれ、おじゃがをほうっておきます。でも、なんだかかなしそうにみえてきて…いっしょにあそんだり、おふろにはいたりして、かわいがるようになります。

そんなあるひ おじゃががいなくなり、必死でさがしますが…

アルバートが おじゃがをかわいがる様子に癒され、ほのぼのとした気持ちになります。

by モモンガ

## 「おはなし会」のお知らせ

📖 図書館おはなし会 📖

10月4日(水)・11日(水)・18日(水)  
午前10時～10時30分

🍡 しゃぼん玉の英語おはなし会 🍡

10月7日(土) 午前11時～11時30分

👗 エプロンひろ子さんのエプロンシアター 👗

10月14日(土) 午前10時30分～11時

📍 クーミンの英語のおはなし会 📍

10月15日(日) 午前11時～11時30分

🍡 ぽっぽのおはなし会 🍡

10月25日(水) 午前10時～11時



## 「図書館まつり」を行います！

★ 令和5年10月29日(日) 午前9時30分～午後4時 ★

内容：リサイクル図書・おはなし会・図書館クイズ  
工作コーナー・一日図書館員など

※リサイクル図書は、随時本の補充をしていきます。

リサイクル本を持ち帰る際には、袋をご持参ください。

図書館まつりでは、雑誌の配布は行いません。

## 10月企画展示紹介



1階企画展示



2階企画展示



カフェ前展示



フラス

芸術の秋

秋の夜長

